平成31年度 須賀川市立第二中学校区小中一貫教育グランドデザイン《施設分離型》

小小連携
児童の交流
エコキャップ回収
保護者の交流
教員の交流
授業研究会

須賀川市立第二小学校
須賀川市立阿武隈小学校
須賀川市立柏城小学校

９年間を通して求める児童・生徒像
自他を尊重し、夢や目標の実現に向かって努力する子ども
○　やさしさを持ち、かけがえのない命を大切にすることができる
○　文武両道を通して、夢や希望に向かって進んでやり抜くことができる

子どもの自尊意識を高め、一人ひとりの個性や生きる力を育む「小中一貫教育」須賀川モデルの推進

小中一貫教育

須賀川市立第二中学校

知　学力向上

○授業・学習規律の維持徹底
○基礎学力の向上（計算力・書く力）
○家庭学習の習慣化

1　小中で共通したスタイルの授業を行います
　グループ学習における「話し合い」「学び合い」活動の充実
2　小中で教科のつながりを意識した授業を行います
　９年間を見通した「スタンダードカリキュラム」の活用・編成
3　学習の規律を徹底します
　・「授業の約束」の徹底
　・９年間における「授業の約束」の発達段階の分析・指導
4　学力テスト等を分析し授業に生かします
　・客観的調査の結果分析（市・県・国の学力テスト分析）
　・学力テストの経年変化調査分析
　・具体策を明確にした学力向上プランの作成
5　学習習慣を確立します
　・学習の手引の作成・指導・改善
　・家庭学習の習慣化
6　出前授業を行います
　中学校教員の小学校への派遣
7　授業研究や授業参観を行います
　統一研修日の設定
　６月１８日（会場：二小，阿武隈小，柏城小）
　１１月１５日（会場：二中）

小中の接続を円滑化・充実させる取組
○　教員交流研修の実施
○　中学校生活を聞く会の実施
○　小中学校の部活動交流
○　児童会・生徒会交流会の実施　「つくし」発行
○　中学校入学説明会（保護者対象）
○　小中教職員による情報交換（引き継ぎ）
○　中学校の授業を体験する乗り入れ授業

家庭との連携：４校ＰＴＡ代表者会
「家庭教育１０の誓い」の実践・評価

小中全職員が９年間を見通した各教科の「スタンダードカリキュラム」を活用し、授業の質を高めます
９年間の系統立てたキャリア教育・ふるさと学習を進め、望ましい職業観・勤労観を身に付けさせます

進路実現・自己実現

義務教育９年間のまとめの時期

中３
中２
知　自ら学ぶ態度と他と関わり合った課題追求力の育成
徳　下級生の模範となる高い意識の実践力の育成
体　自らの課題を自覚し，改善する能力の育成

学力向上や中１ギャップ等の解消を図る時期

中１
小６
小５
知　身に付けた知識の活用と論理的な思考力の育成
徳　自ら考え判断し行動する能力の育成
体　望ましい運動習慣・生活習慣の確立

学習習慣や生活習慣の確立の時期

小４
小３
小２
小１
知　学習規律の定着と基礎的・基本的な事項の習熟
徳　自他の尊重と規範意識の育成
体　基本的な生活習慣の定着と運動への意識の向上

小中一貫教育を推進する主な組織
○　須賀川二中学区校長連絡会
○　須賀川二中学区小中一貫連絡会（事務局：須二中）
○　各部会（学力向上部：事務局，柏城小，生徒指導部：事務局，二小
　健康教育部：事務局，阿武隈小，事務部：事務局,須二中）

小・中学校教職員が、子どもの指導法を共有し、９年間の「学びの連続性」を意識して指導にあたります
学力向上部・生徒指導部・健康教育部の３部会による９年間を見通した共通指導事項で、教育の質を高めます

徳　生徒指導

○規範意識の涵養と社会性の育成
○人間関係力の育成

1　基本的習慣を確立します
　・あいさつ運動の推進
　・小中学校における「生活きまり」の具体的な共通事項の洗い出しと実践
2　児童生徒をよく理解し支援を強化します
　・自尊感情を高める指導・支援の工夫
　・ネット端末の利用における共通した考え方の確立
　・通学路の安全確保・危険箇所の共有化
3　小中の特別支援教育の効果的な連接を目指します
　・事例研究による支援指導法の研究
　・「個別の指導計画」の効果的な活用法の研究
4　生徒指導担当者会議開催（学期１回）

体　健康教育

○基本的生活習慣の定着
○健康・体力づくり
○食育の推進
家庭と連携強化

1　体力の向上を図ります
　・体力・技術の向上
　・部活動見学会の実施
2　保健指導を充実します
　・健康安全への自己指導能力の育成
　・望ましい歯科保健の充実（家庭との連携）
3　食育を推進します
　・食育の推進（朝食摂取・食習慣の育成）
　・地産地消に関わる情報の共有化
　・栄養教諭の小学校への派遣

地域との連携：４校合同学校評議員会
地域人材の積極的活用と地域人材バンクの設置と運用